

Minamiこども教室： ネグレクト児童およびヤングケア ラーへの寄り添いサポート事業

令和5年度大阪市市民活動推進助成事業報告会

2024年6月14日(木)



事業目的

- ニーズの高い子どもへの円滑な対応と子どもたちに寄り添うための持続的な支援を目指す。
- ネグレクト等の事案の早期発見に努めるため、子ども支援団体および事業所との連携を深め、当団体内の相談機能を強化する。
- 子どもの自尊感情を育み、虐待から自分自身を守るための「生きる力」を支えるキャリア支援や社会体験の充実をはかる。



実施状況 相談窓口

子どもや若者たちの悩みや困りごとを聞き取る相談窓口を開設。聞き取った内容はケース記録に。



週2回、計102回開催
相談件数延べ223件
(うち子どもから35件)



相談窓口についての広報資料の作成
チラシ(1000部)、ポスター(300部)、
カード(1000部)



実施状況 同行支援



困りごとと解決のために、同行支援や家庭訪問、面談を実施する。



同行支援、学校訪問、家庭訪問等、
88件



ケース共有会議4～3月計12回開催

実施状況 タウンミーティング

10月31日 参加者50名

Minamiこども教室の活動報告とその成果・課題・今後の展望について。



実施状況 子どもの 社会体験



JEOこども食堂239名



火おこし体験31名



夏休み特別活動41名



盆踊り大会
52名



キャンプ
57名





実施状況 子どもの 社会体験



遠足「ハーベストの丘」80名



人権フェスタ ダンスパフォーマンス 10名



課題と改善策

長期化するケースが多く相談員の負担が増加



相談員の役割分担をはかるとともに、周囲の専門家との協力体制を強化する

イベント等の活動が拡大し引率の負担が増加



スタッフの負担を軽減しながらも子どもの体験の質をキープできるように計画的な実施を心がける

まだ繋がれていない支援を必要とする子どもへのアプローチ



子どもたちに働きかけるより有効な手段を講じる

